



平成 30 年 4 月 12 日

各 位

会社名 株 式 会 社 松 屋
代表者 代表取締役社長執行役員 秋田 正紀
(コード番号 8237 東証第一部)
問合せ先 総務部コーポレートコミュニケーション課
課長 関 泰程
(TEL. 代表03-3567-1211)

組織改定並びに取締役の業務委嘱の変更に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 4 月 12 日開催の取締役会におきまして、下記のとおり、組織改定並びに取締役の業務委嘱の変更を内定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 組織改定の主旨

- ・ 2019 年 11 月 3 日に迎える創業 150 周年を契機とし、営業力・ブランド力を一層強化するため、組織の改定を行う。
- ・ なお、創業 150 周年の対象期間は、2019 年 9 月 1 日から 2020 年 8 月 31 日までの一年間とする。

2. 組織改定の主な内容

1) 後方部門

① 150 プロジェクト委員会(略称:Pro150)の新設

- ・ 当社は、際立つ独自性を発揮するため、創業 150 周年を契機とし、改めて『デザインの松屋』を標榜し、幅広い営業活動において、広義における意味でのデザイン力を高めることを目的に、150 プロジェクト委員会(Pro150)を新設する。
- ・ 当社は、長年にわたり、『日本デザインコミッティー』と協働して優れたデザインの啓蒙に努め、また、『デザインコレクション』の売場に代表されるデザイン性の高い商品政策等の資産を築いてきました。これらを活かし、この機会に改めてデザインの知識・意識を高めるとともに、デザインの観点で、多岐にわたる取組みの強化を促進する。
- ・ 当委員会の委員長には、社長執行役員が就任する。
- ・ 活動に当たっては、グラフィックデザイナーの佐藤 卓氏をクリエイティブディレクターとして招聘し、同氏との協働の下、社内関係各部門によって委員会を組成する。
- ・ なお、現存組織である構造改革推進委員会は、150 プロジェクト委員会(Pro150)に活動を包含する。

※【参考資料】参照

3. 取締役の業務委嘱の変更

氏名	新役職名	旧役職名
川合 晶子	取締役上席執行役員 本店長	取締役上席執行役員 本店長 構造改革推進委員会事務局長

4. 実施期日

平成 30 年 5 月 1 日(火)

以 上

JAPAN DESIGN COMMITTEE

■松屋と日本デザインコミッティー

日本デザインコミッティーの活動は、「よいデザイン」を広く一般の人々に紹介することにあります。

松屋はこの地道な活動に賛同し、60年以上にわたり、この活動を支えてきました。

現在、松屋銀座7階で展開する「デザインコレクション売場」と「デザインギャラリー 1953」は、両者の協議による象徴的な存在です。

また、松屋は、2007年に「50年を超えるデザイン啓蒙活動」に対して、「毎日デザイン賞特別賞」を受賞いたしました。

日本デザインコミッティーと共に、「よいデザイン」が社会へと浸透するように活動してきたことが評価されました。



※選定会風景
※出展：日本デザインコミッティー

■日本デザインコミッティーについて

日本デザインコミッティーは、1953年に創設。デザイナー、評論家、芸術家、写真家などさまざまなジャンルのクリエイターによって組織されました。

きっかけは、デザインのオリンピックと言われる「ミラノ・トリエンナーレ」への参加でした。

イタリア政府から招待状を受け、当時一線で活躍していたクリエイターたちが、これに参加するために集結したのが、日本デザインコミッティーの前身、国際デザインコミッティーです。

1957年、トリエンナーレへの参加を果たした後、日本デザインコミッティーは、「デザインの啓蒙」を旗印に、国内外のさまざまなデザイン、またジャンルを超えたデザインを紹介することに心血を注ぎました。

活動の拠点に選んだのが松屋。銀座を拠点とし、「よいデザイン」（機能に優れること。美しい形であること。適正価格であること。など）とは何かを「商品」を通して、多くの人々に知らせる活動を始めました。

現在、7階にある「デザインコレクション売場」は、その活動を実践するための大切な存在です。

商品選定はデザインのプロである日本デザインコミッティーが、販売はそのプロである松屋が受け持つ。双方が連携してグッドデザイン運動が今日も実践されています。

また、1964年にはデザインをテーマにした「デザインギャラリー 1953」を創設。世界中で展開されるデザインの最前線、あるいはデザインの伝統や歴史などをテーマに、今日も変わることなく企画開催しています。



※グッドデザインコーナー
※出展：日本デザインコミッティー

■現在の主な活動

「デザインコレクション」

1955年に創設されたデザインのセレクトショップです。丹下健三や渡辺力等が売場の設計に携わり、この頃としては画期的な売場を作り上げました。

当時、国際情報に乏しい状況下、海外渡航の機会が多かったメンバーたちは、目新しいデザインを売場に持ち込んだり、自分自身の自信作を展示販売するなど、デザインを生活に活かす方法を、商品を販売することで推し進めていきました。

現在の売場は、深澤直人の設計、佐藤卓のグラフィックの手により、2011年にリニューアルされました。

「デザインギャラリー 1953」

「デザインギャラリー」は、前東京オリンピックが開催された1964年に開設されました。

国内外のさまざまなデザインを紹介するために生まれました。歴代の企画展からは、デザインの歴史や潮流を感じ取ることができます。

2018年には会期が740回を超え、多くのファンを惹きつけて止みません。デザインギャラリーを観覧し、デザインコレクションで買い物をするというのが、デザイン愛好者の銀座散策のルートともなっているようです。

「企画展」

もう一つ重要な活動が、松屋銀座8階のイベントスクエアで開催される「企画展」です。

その折々のテーマを掲げ、メンバーが一致して企画に携わります。デザインギャラリーとは一味異なる展覧会は、深くデザインを追求するものとなり、日本デザインコミッティーと松屋のデザインへの視点を知らしめる機会となっています。

2002年「デザインの原形」、2004年「時代のアイコン」、2006年「Design with Respect」、2008年「デザイン物産展ニッポン」、2010年、2012年、2014年「銀座目利き百貨街」、2016年「伝統の未来」。

■ジャンルを超え、現在26名のデザイナー、建築家、評論家が、ボランティア精神に基づきこの運動に参加しています。

深澤 直人	Naoto Fukasawa	プロダクトデザイナー	面出 薫	Kaoru Mende	照明デザイナー
原 研哉	Kenya Hara	グラフィックデザイナー	三谷 龍二	Ryuji Mitani	木工作家
平野 敬子	Keiko Hirano	デザイナー	永井 一史	Kazufumi Nagai	アートディレクター
伊藤 隆道	Takamichi Ito	造形家	永井 一正	Kazumasa Nagai	グラフィックデザイナー
柏木 博	Hiroshi Kashiwagi	デザイン評論家	内藤 廣	Hiroshi Naito	建築家
川上 元美	Motomi Kawakami	デザイナー	新見 隆	Ryu Niimi	キュレーター
喜多 俊之	Toshiyuki Kita	プロダクトデザイナー	佐藤 卓	Taku Satoh	グラフィックデザイナー
北川原 温	Atsushi Kitagawara	建築家	柴田 文江	Fumie Shibata	プロダクトデザイナー
小泉 誠	Makoto Koizumi	家具デザイナー	須藤 玲子	Reiko Sudo	テキスタイルデザイナー
隈 研吾	Kengo Kuma	建築家	鈴木 康広	Yasuhiro Suzuki	アーティスト
黒川 雅之	Masayuki Kurokawa	建築家 / プロダクトデザイナー	田川 欣哉	Kinya Tagawa	デザインエンジニア
松本 哲夫	Tetsuo Matsumoto	建築家 / インテリアデザイナー	田中 俊行	Toshiyuki Tanaka	空間デザイナー
松永 真	Shin Matsunaga	グラフィックデザイナー	山中 俊治	Shunji Yamanaka	デザイナー

※出展：日本デザインコミッティー

佐藤 卓
Taku Satoh



グラフィックデザイナー

1979年東京藝術大学デザイン科卒業、1981年同大学院修了、
株式会社電通を経て、1984年佐藤卓デザイン事務所設立。

2018年4月、社名変更(現・株式会社 TSDO)とともに、会長に就任。

「ニッカ・ピュアモルト」の商品開発から始まり、

「ロツテキシリトールガム」「明治おいしい牛乳」などの商品デザイン、

「PLEATS PLEASE ISSEY MIYAKE」のグラフィックデザイン、

「金沢 21世紀美術館」「国立科学博物館」「全国高校野球選手権大会」等の
シンボルマークを手掛ける。

また、NHK Eテレ「にほんごであそぼ」アートディレクター、「デザインあ」総合指導、

21_21 DESIGN SIGHT 館長およびディレクターを務めるなど多岐にわたって活動。

著書に『クジラは潮を吹いていた。』(DNP アートコミュニケーションズ)、

『塑する思考』(新潮社)等。

